



光永 吉宏
脳神経内科 病院長

Doctor's photography

特集

診療部・地域医療連携センター特集



社会福祉法人 柏芳会

田川新生病院
Hakuhoukai Tagawa Shinsei Hospital

For health and longevity of the community

地域の健康長寿に貢献する

新年の御挨拶

病院長 光永 吉宏

明けまして、おめでとうございます。

昨年は1月28日、回復期リハビリテーション病棟・新型コロナウイルス感染症クラスターの発生に始まり、患者様、御家族様、当院スタッフの皆様、関係各所には大変な御苦勞、御迷惑をお掛けした一年でした。

しかるに新年早々、新型コロナウイルス・オミクロン株の蔓延が危惧され、重い幕開けとなりました。この株は水痘帯状疱疹ウイルスに次ぐ、史上二番目に強力な感染力を有すると言われています。私どものクラスター経験から新型コロナウイルスは、ほんのわずかな油断、スキから巧妙に侵入して来る事が分かりました。

私たちは昨年のクラスター経験を元に油断なく絶対安全な医療環境を守り抜き、地域の皆様の健康長寿に貢献して行くとともに、皆様におかれましても尚一層の感染対策を講じられて、罹らず、うつさず、このパンデミックの終息まで健康を維持していきましょう。



事務長就任あいさつ

はじめまして。宜しくお願いします！

事務長 白土 英二

新生病院だよりをご覧の皆さん、はじめまして。

この度、事務長に就任致しました白土英二でございます。どうぞよろしくお願い致します。

昨年は新しい生活様式「Withコロナ」に象徴されますように、新型コロナウイルスなくしては語れない日々だったと思います。

この原稿が発行される2月にコロナは終息しているのか、第6波が到来しているのか？ 予測が難しい状況ではありますが、これまでの経験から「どんな時でも前に」進むしかないと考えようになりました。

新しい年を迎え、仕事、プライベートに係わらず全ての事において、出来ない事への“諦め”ではなく、出来る事の“喜び”を一つでも多く感じられる日常を迎えられればと思います。

今年の干支は寅、年男の私としては虎穴虎子の姿勢で何事にも「トラ」イ、笑顔（え・が・おー）が絶えない一年を過ごせるよう、併せて2022年が全ての人にとって心身ともに幸せに過ごせるように願っております。

最後になりますが、田川新生病院の経営理念であります「地域の健康長寿に貢献する」を実践すると共に地域の皆様に信頼され安心して利用して頂ける病院になれるよう、微力ではありますが努力して参ります。地域の皆様方にはご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。



診療部

診療部では回復期から生活期までの総合的リハビリテーションを実施するため、チームリーダーとして治療・健康管理等を行っております。

光永 吉宏 | 専門分野：脳神経内科 趣味：ギター・天体写真

脳神経内科が専門です。脳神経内科の領域は多岐に渡り、中枢神経が徐々に壊れていく変性疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症など）、自己免疫疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎、ギラン・バレー症候群など）、末梢神経疾患（遺伝性ニューロパチー、糖尿病性神経障害など）、筋肉疾患（筋ジストロフィー、各種ミオパチーなど）と運動・感覚に関わる臓器・組織の疾患がターゲットです。近年の研究により原因が分かりつつある疾患も多く治療法も開発されつつある領域です。

夢は「百寿者の恍惚」。38年と言われているヒトの設計寿命をいかにして100年まで持ち堪えさせるか。当院理念にある健康長寿は、栄養・運動により達成可能であり、また最近は寿命に直接関わりうる医薬品も出て来ております。

外来でうるさく栄養食事指導、運動指導にこだわるのは皆様の健康長寿の為ですので、しっかり学んで頂き、一緒に百歳を目指しましょう。



田中 典子 | 専門分野：脳神経内科 趣味：料理・乗馬

当院は、回復期リハビリテーションと神経難病を中心とした障害者病棟に強みを持つ病院です。

私は脳神経内科が専門で、リハビリの現場を長年みてきました。ただ、地域性や病院の態勢によってどの現場にも違いがあります。田川地域は高齢者が多く、よりきめ細かい診療が必要だと感じています。リハビリである以上、日常生活における動作の向上はもちろんですが、大切なのが「生活全体の質の向上」。一人一人に対するオーダーメイドのリハビリができるよう、日々努めています。

また、神経難病に対しても同様で、確実な治療法がない多くの症例に対し、一人一人に寄り添える診療ができればと思っています。



新井 堅 | 専門分野：手の外科 趣味：テニス・将棋・ウォーキング

当院では整形外科・リハビリテーション科を担当しております新井と申します。

毎週 月・水・金曜日で外来診療を行っております。

腰痛・膝・手の痛み等でお困りの方はお気軽にご相談ください。

よろしくお願いいたします。



後藤 文香 | 専門分野：リハビリテーション科 趣味：音楽鑑賞

2019年4月より、田川新生病院回復期リハビリテーション病棟に勤務しております後藤文香と申します。リハビリを始めとした経験豊富なスタッフ達と共に、患者様およびご家族の退院後の生活がより良いものになるよう、しっかりお手伝いをさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



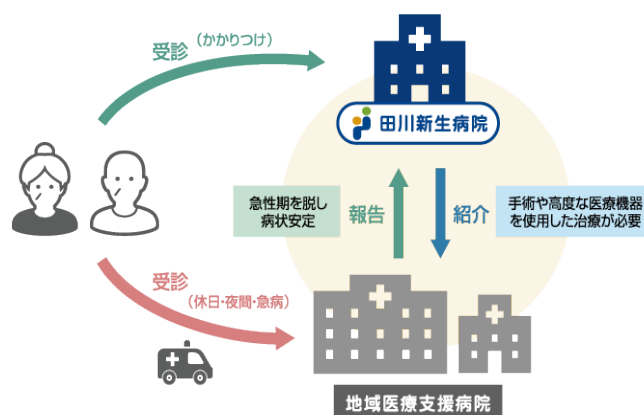
地域医療連携センター



患者様が地域で適切な医療を受けられるように支援

地域医療連携センターは、その名の通り、病院で地域医療連携のために必要な業務を行う部署です。地域医療連携とは、地域内の医療機関がそれぞれの施設の特色に応じて、機能分担や専門化を進め、連携して効率的な医療サービスを地域に提供していくシステムのことを意味します。もともとは大きな病院に軽症の患者様が集中するために、待ち時間が長くなったり、重症の患者さんの診療に十分な時間をかけられなくなったりする事態を解消するために誕生しました。当院の地域医療連携センターでは、患者様の病態に適した医療や介護サービスを受けることができるように、地域（筑豊地区だけでなく福岡県全体、時には日本中）の医療機関と連絡を取り合っ、入退院の調整をしたり、

様々な相談事に応じたりする役割を担っています。職種としては、センター長の医師をはじめ、看護師、社会福祉士、事務職員がスタッフとして配属され、院内外の様々な機関と連携しながら働いています。



入院調整の窓口

地域医療連携センターは、他の医療機関から転院されて来られる患者様の入院調整窓口でもあります。急性期病院での治療が落ち着き、当院の回復期リハビリ病棟や障害者病棟での継続したリハビリや療養治療が必要な患者様がスムーズに入院できるように調整を行います。また、外来患者様の入院が必要になった場合は、当院への入院だけでなく病状に応じて適切な治療が受けられる病院を探し、そちらの地域医療連携

室と連絡を取り合い受診や入院の調整を行います。



介護相談や介護サービス機関の連絡窓口業務も

地域医療連携センターは、ケアプランセンターが併設されておりケアマネジャーも働いています。その為患者様の介護に関する相談にも対応しています。入院中の患者様からは退院後の暮らしについての相談を受け、外来の患者様からは現在の生活で困っていることの相談を受け、どちらの場合でも福祉施設や介護サービス機関、市役所等

の行政機関と連携しながら支援を行います。在宅での療養や介護施設への入所、転院等へのサポートも行い、患者様が退院後に受診する「かかりつけ医」とも連携することも仕事の一つです。最近では訪問看護や訪問リハビリ、デイケア（全て当院にもあります）を利用される方が増えてこれ、介護が必要になっても住み慣れた自宅で生活することを希望される患者様が少なくありません。また、当院以外のケアマネジャーや関係機関相談担当者からの連絡窓口にもなっています。

このほかに、身体障害者手帳や難病医療費助成制度の申請方法の紹介、患者会のサポート、入院費等の相談を受けるなどの業務も担当しています。



当院が目指す地域連携とは

それは「地域の健康長寿に貢献する」ことです。田川新生病院と地域が連携し、皆様と私たちの健康長寿を作り上げることができるように取り組んでいます。健康長寿について詳しく知りたい方は地域医療連携センター（1階売店横）までお立ち寄りください。

集中的なりハビリをしてみませんか？

令和3年9月より集中的なりハビリテーションを希望される方への、短期集中なりハビリテーション入院を開始しました。発症から間もない方から長期的に治療を行っている方、在宅生活に支障があり、自主訓練を希望される方等、集中的なりハビリテーションを希望される方が対象となります。

短期集中なりハビリテーション入院は、患者様の機能改善、在宅生活の支援を目的とし、入院中は、機能訓練、日常生活活動の訓練を組み合わせたプログラムを2週間実施することを基準としています。また、ボトックス治療後の方、パーキンソン病等の難病疾患の方も受け入れていますので、お気軽にご相談ください。



脳血管障害による筋肉のつっぱりでお困りではないですか？

— 当院でボトックス治療が受けられます —

当院では令和2年10月1日よりボトックス治療を開始しました。脳梗塞や脳出血などの脳卒中などにより痙縮（手足の突っ張りや硬さ）にお困りの患者様に有効とされているボトックス治療を行い、日常生活やリハビリテーションを行いやすくしたり痛みを和らげたりします。

ボトックス治療とは

ボツリヌス菌が作り出す、天然のたんぱく質（ボツリヌストキシン）を有効成分とする薬を筋肉に注射し、筋肉の緊張や痙縮を和らげる治療です。

実際の患者様の声

- 手足が柔らかくなって指が食い込まなくなった！
- 指が開くようになった！
- 歩くスピードが速くなった！
- 痛みが和らいだ！

などの感想をいただいています。

気になる症状がありましたら、お気軽に外来看護師までお声をかけてください。



注) 効果には個人差があるため、治療を数回行い効果判定していきます。

摂食機能療法（食べる力・飲み込む力の強化）に取り組んでいます

当院ではNST（栄養サポートチーム）を中心に「口から食べる楽しみを最後まであきらめない」をモットーに活動しています。その中で看護師は嚥下機能が低下している患者様に医師、管理栄養士、言語聴覚士等と連携し、「摂食機能療法」を実施することで、誤嚥性肺炎予防や経口摂取への移行、食事形態のアップを目指しています。

言語聴覚士と共に、口腔ケア・嚥下体操・口唇や頬のマッサージ・呼吸訓練・喉のアイスマッサージ・構音訓練・カラオケなどを組み合わせ患者様にあったプログラムを考え行っています。

毎日訓練を続けることで、胃や鼻にチューブを入れそれから栄養を摂っていた患者様が経口食へと移行できた方もみられ、誤嚥性肺炎の発症や再発が減少してきています。



健康長寿 プロジェクト

第5回 交通事故よりも被害者が多い！冬の「ヒートショック」

ヒートショックは高齢者に多く見られる健康被害で、実は交通事故よりも亡くなる人の数は2倍以上も多いのです。ヒートショックとは、急な温度変化が原因で血圧が乱高下し、心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こす健康被害のことです。

特に浴室で起こりやすいため、次のような対策が必要です。

- 脱衣所や浴室は暖かくし、湯温は41℃以下にする
 - 長湯は避け浴槽から急に立ち上がらない
 - 食後すぐや飲酒後の入浴は控える
 - 入浴前に家族にひと声かける
- 予防対策を知って安全で快適な入浴をしたいものです。寒いトイレでも同様のことが起こりやすいのでご注意ください。

医師担当表

R4.2.1

曜日 受付時間	月	火	水	木	金	土
8時30分 ～ 11時00分	脳神経内科	循環器内科・心臓血管外科	内科[脳神経内科]	内科[脳神経内科]	内科[呼吸器内科]	
	田中 (9:00～)	安藤	光永	光永	阿部	
	内科[糖尿病内科]	内科[こう原病・リウマチ]	内科[呼吸器内科]	内科[漢方診療科]	内科[総合診療科]	
	牧	内野	阿部	後藤	柏木	
	整形外科	整形外科	整形外科		整形外科	
	新井	藤井	新井		新井	
13時30分 ～ 16時00分	脳神経内科	循環器内科・心臓血管外科	内科[呼吸器内科]	脳神経内科	内科[総合診療科]	
	光永 (新患：予約) 13:30～	安藤	阿部	田中	柏木	
	皮膚科	整形外科		内科[漢方診療科]		
	飯塚病院	藤井		後藤		
	泌尿器科					
	鍋島 (第2、第4)					

最終更新日 R3.7.1

※ 上記医師担当表は随時変更していますので、詳しくはホームページをご覧ください。

※ 月曜午後の光永院長の診察は、新患のみの予約診察となります。

※ 初めておかけの患者様で脳神経内科・リウマチ科のご受診は初診時のみ予約診察となります。詳しくはお問合せください。

編集後記

初めまして、今年度から広報委員になりました原田と申します。

以後お見知りおきをお願い致します。

だんだんと寒さが厳しくなり体調を崩すことが多くなりがちな季節になりました。

こんな時は簡単ミルフィーユ鍋がおすすめです。

鍋の底から白菜と薄切りの豚肉を交互に重ねつつ塩コショウを振りかけていだけで完成の簡単料理ですが、白菜と豚肉のうまみがたっぷり出てポン酢などにつけて食べるとおいしいです。

広報委員会 原田

